

「平成 30 年度 兵庫県内の市町財政の状況」



(1) 経常収支比率の状況

【資料 1】 平成 30 年度兵庫県内各市町の経常収支比率の状況<地図> 1

【資料 2】 経常収支比率の対前年度比較 2

(2) 実質公債費比率の状況

【資料 3】 平成 30 年度兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況<地図> 3

【資料 4】 実質公債費比率の対前年度比較 4

(3) 将来負担比率の状況

【資料 5】 平成 30 年度兵庫県内各市町の将来負担比率の状況<地図> 5

【資料 6】 将来負担比率の対前年度比較 6

(4) 税徴収率の状況

【資料 7】 平成 30 年度兵庫県内各市町の徴収率（個人住民税）の状況<地図> 7

【資料 8】 徴収率（個人住民税）の対前年度比較 8

【資料 9】 平成 30 年度兵庫県内各市町の徴収率（固定資産税）の状況<地図> 9

【資料 10】 徴収率（固定資産税）の対前年度比較 10

【資料 11】 特別徴収実施率の対前年度比較 11

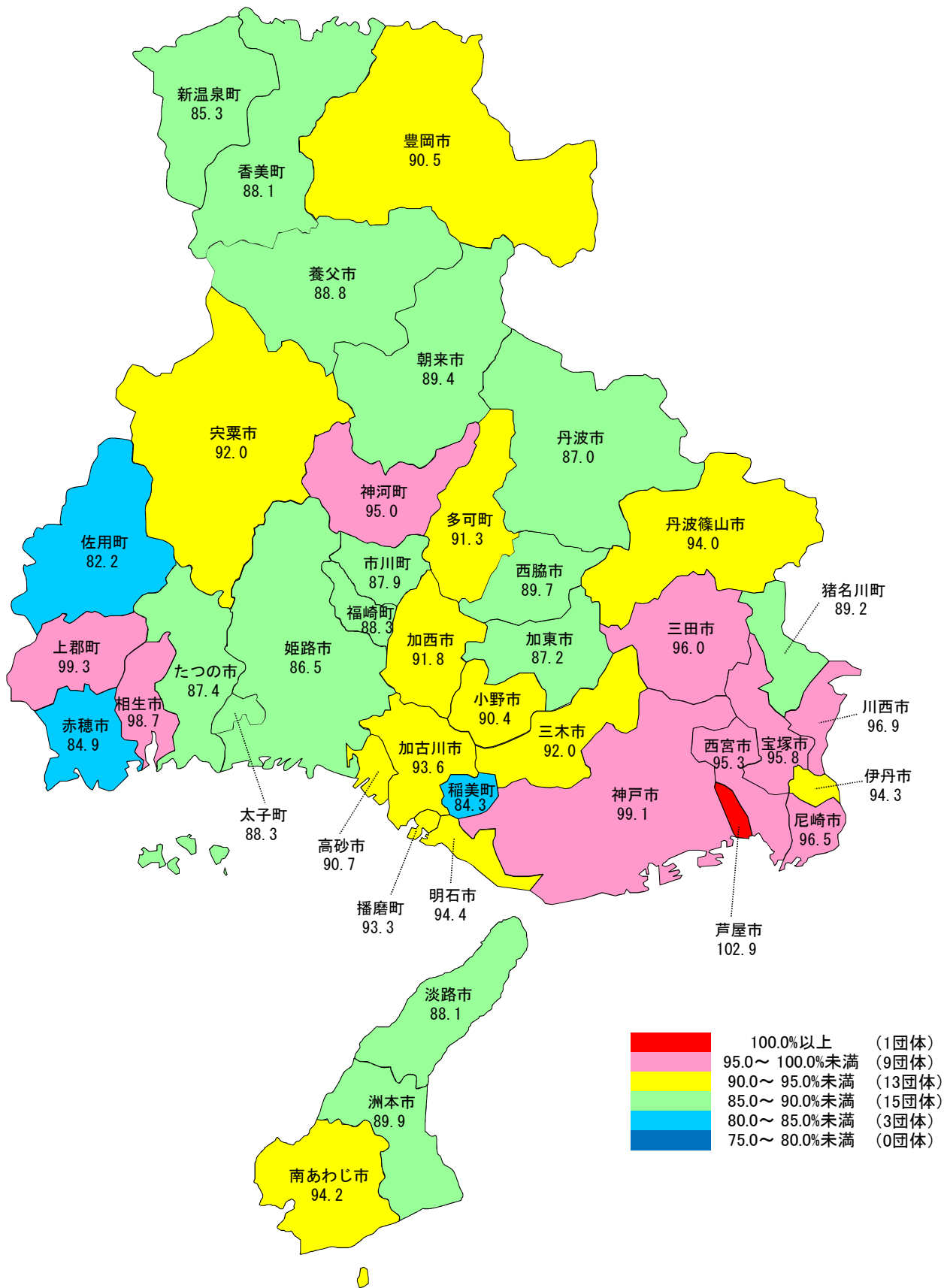
※ 参考

【参考資料①】 平成 30 年度兵庫県内各市町のラスパイレス指数の状況<地図> 12

【参考資料②】 ラスパイレス指数の対前年度比較 13

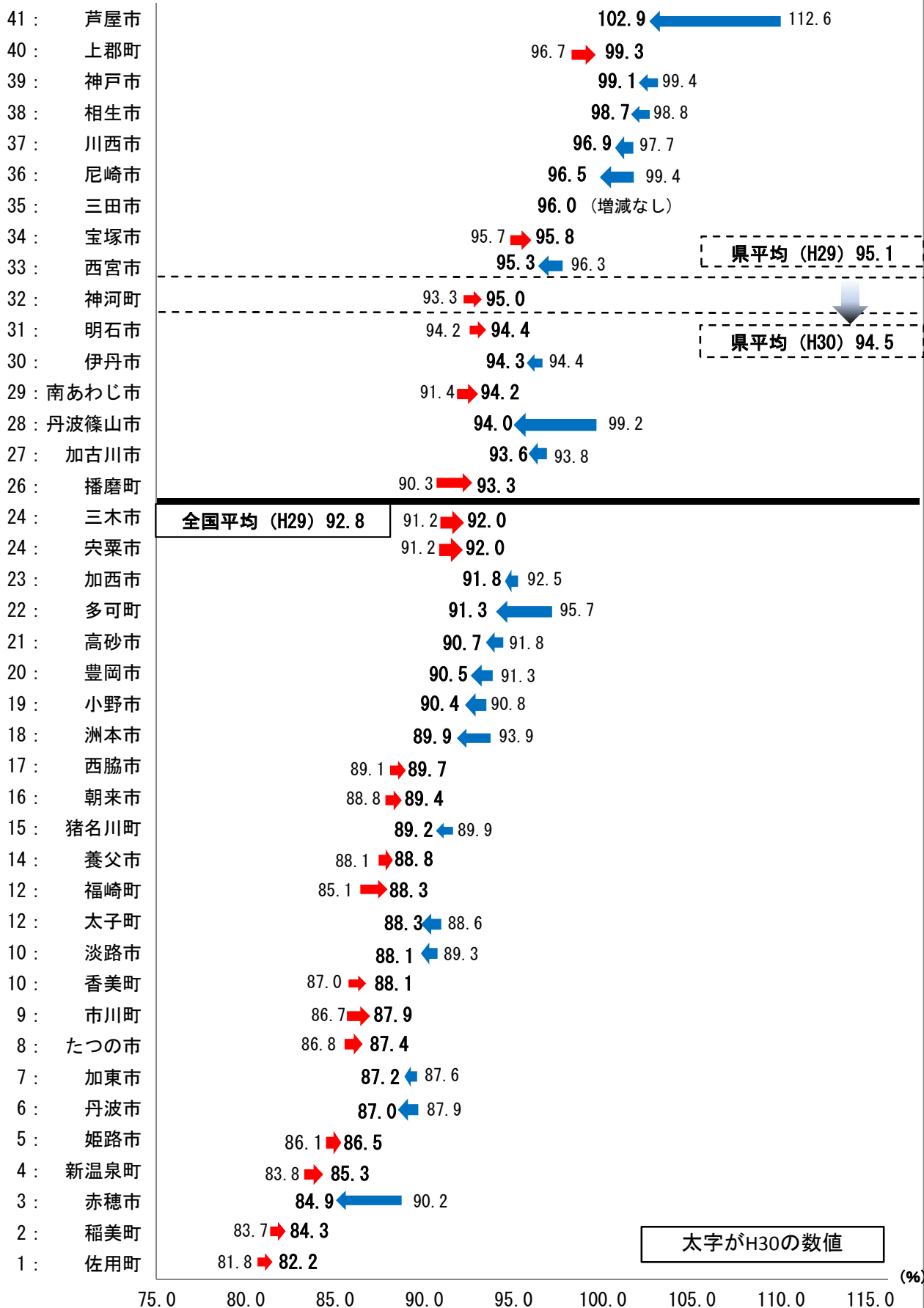
平成30年度兵庫県内各市町の経常収支比率の状況

- 平成30年度の経常収支比率の県内市町平均は94.5% (H29全国平均は95.1%)。
- 経常収支比率が最も高い団体は、市では芦屋市(102.9%)、町では上郡町(99.3%)。
- 経常収支比率が最も低い団体は、市では赤穂市(84.9%)、町では佐用町(82.2%)。



経常収支比率の対前年度比較

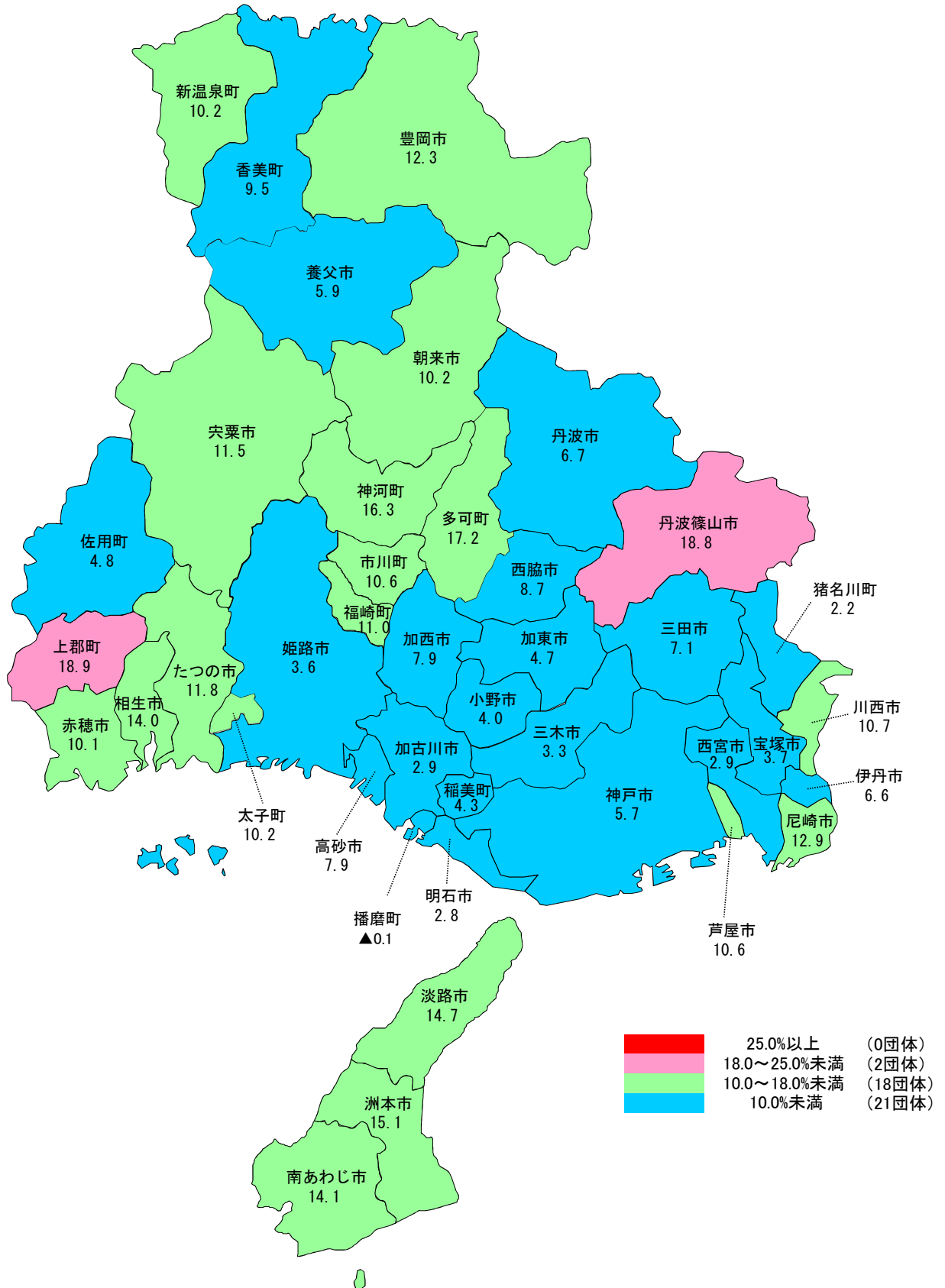
■前年度から比率が減少したのは21団体、比率が増加したのは19団体、1団体が増減なし。
 ■最も減少したのは、市では芦屋市(▲9.7)、町では多可町(▲4.4)。
 ■最も増加したのは、市では南あわじ市(+2.8)、町では福崎町(+3.2)。



太字がH30の数値

平成30年度兵庫県内各市町の実質公債費比率の状況

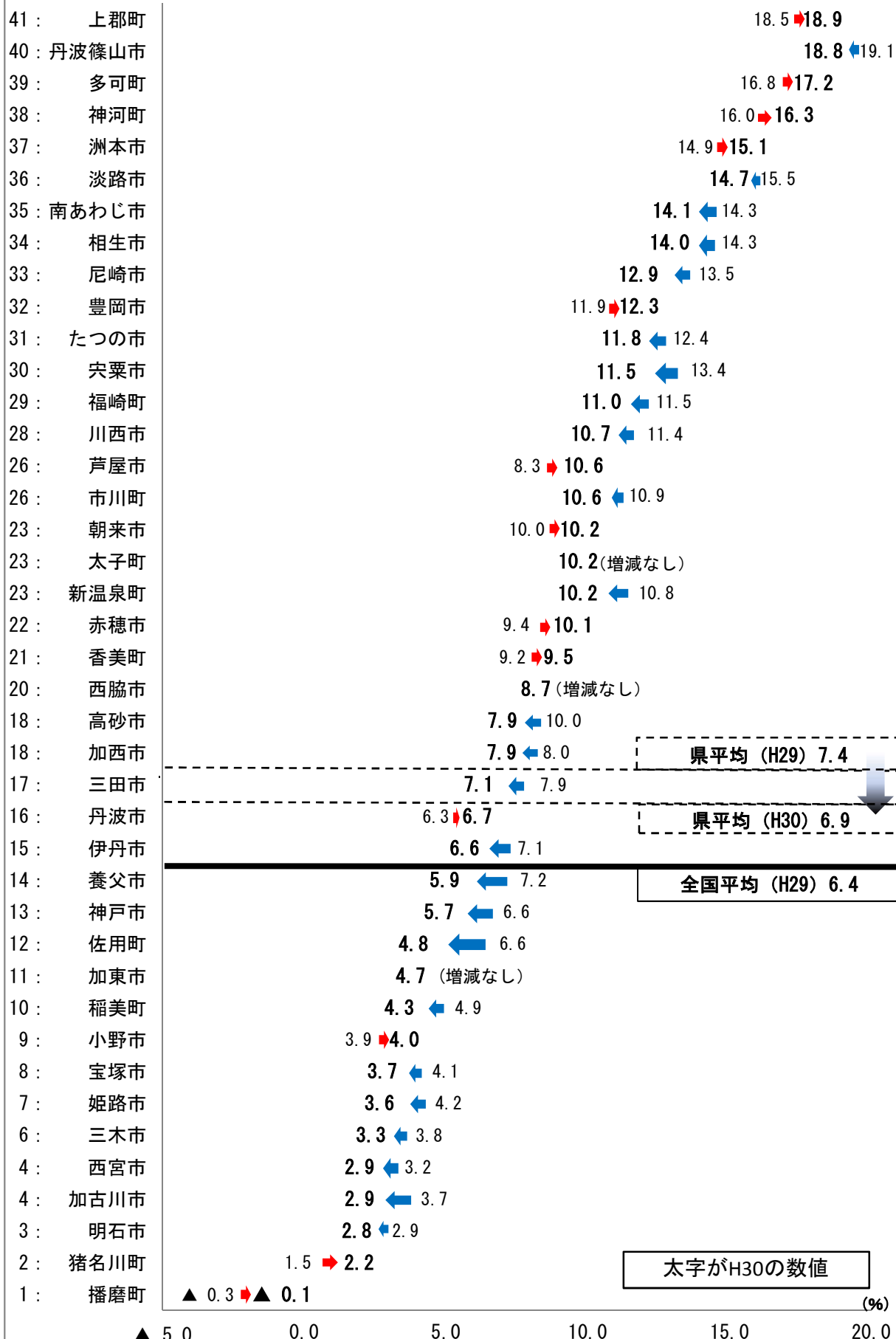
○平成30年度の実質公債費比率の県内市町平均は6.9%(H29全国平均は6.4%)。
 ○実質公債費比率が25%以上※1の団体はないが、18%以上※2の団体は、上郡町(18.9%)、丹波篠山市(18.8%)の2団体。
 ○実質公債費比率が18%未満※3の団体は、39市町となった。



※1 実質公債費比率が25%以上35%未満の地方公共団体は、早期健全化団体となり、財政健全化計画を策定し、その内容及び実施状況に応じて起債が許可される。
 ※2 実質公債費比率が18%以上25%未満の地方公共団体は、公債費負担適正化計画の内容および実施状況に応じ、起債が許可される。
 ※3 実質公債費比率が18%未満(実質赤字額・連結実質赤字比率が0、将来負担比率350%以下等)の地方公共団体は、民間等資金の起債にあたり、原則として協議が不要となり、事前届出となる。

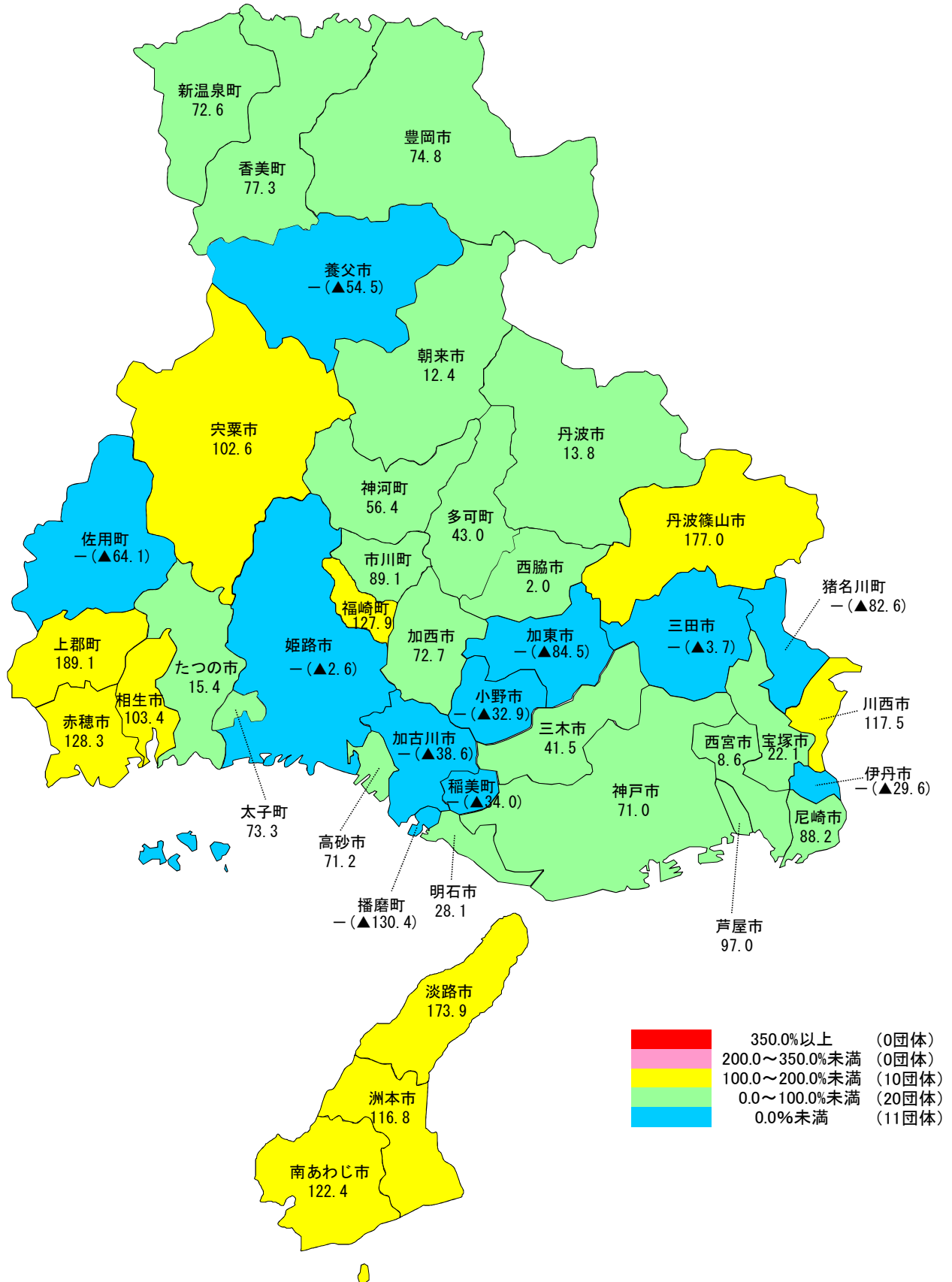
実質公債費比率の対前年度比較

- 前年度から比率が減少したのは25団体、比率が増加したのは13団体、3団体が増減なし。
- 最も減少したのは、市では高砂市(▲2.1)、町では佐用町(▲1.8)。
- 最も増加したのは、市では芦屋市(+2.3)、町では猪名川町(+0.7)。



平成30年度兵庫県内各市町の将来負担比率の状況

○平成30年度将来負担比率の県内市町平均は46.7%(H29全国平均は33.7%)。
 ○将来負担比率が350%以上(早期健全化団体)※1の団体はない。0.0%未満の団体は加東市、播磨町など11市町。

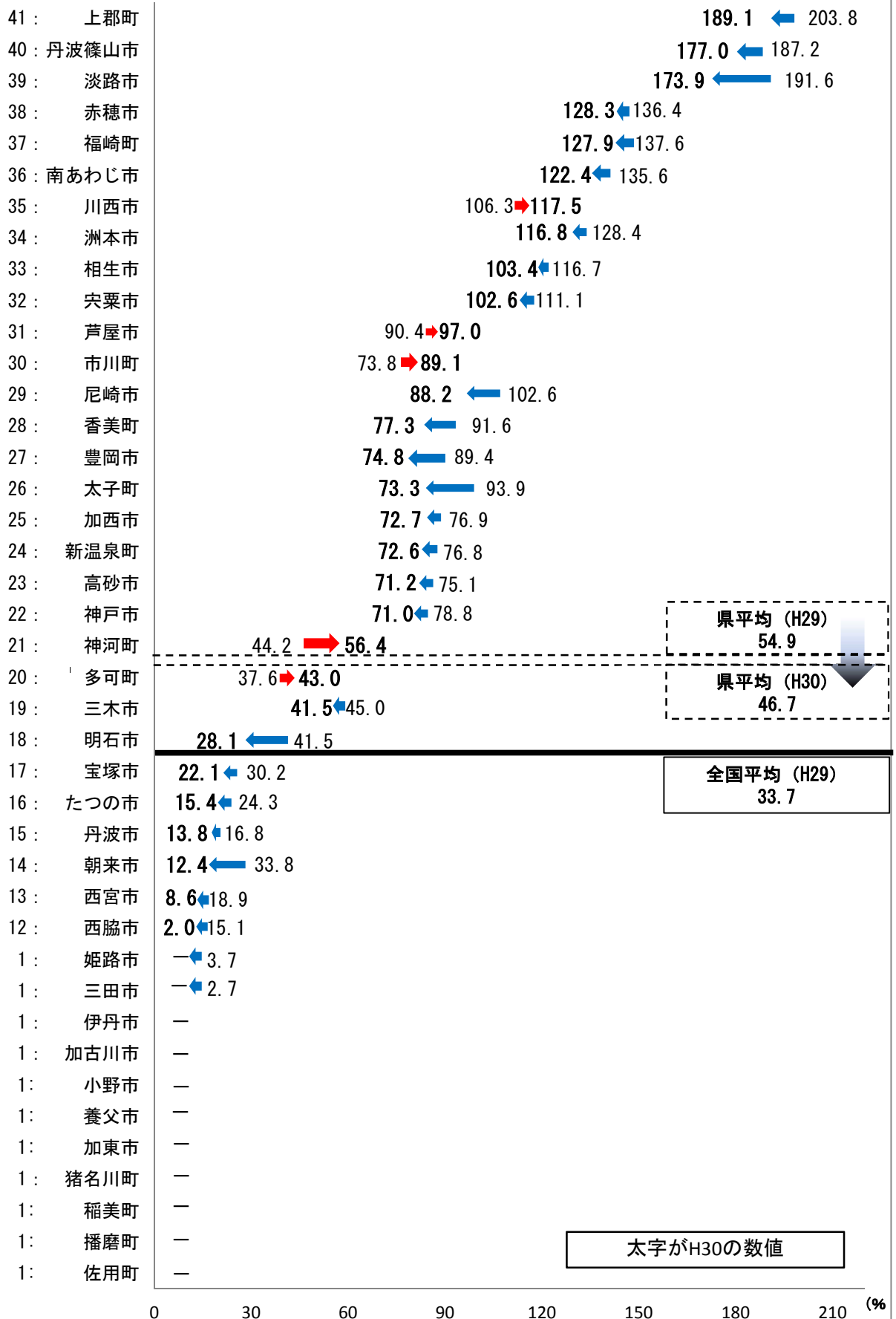


※1 将来負担比率が350%以上(政令市においては400%以上)の地方公共団体は、早期健全化団体となり、財政健全化計画を定めなければならない。
 ※2 将来負担比率について、公債費充当可能財源等が将来負担額を上回るため比率が算定されない団体は、「-」で表示。(括弧書きで、公債費充当可能財源等の超過率を参考表示。)

将来負担比率の対前年度比較

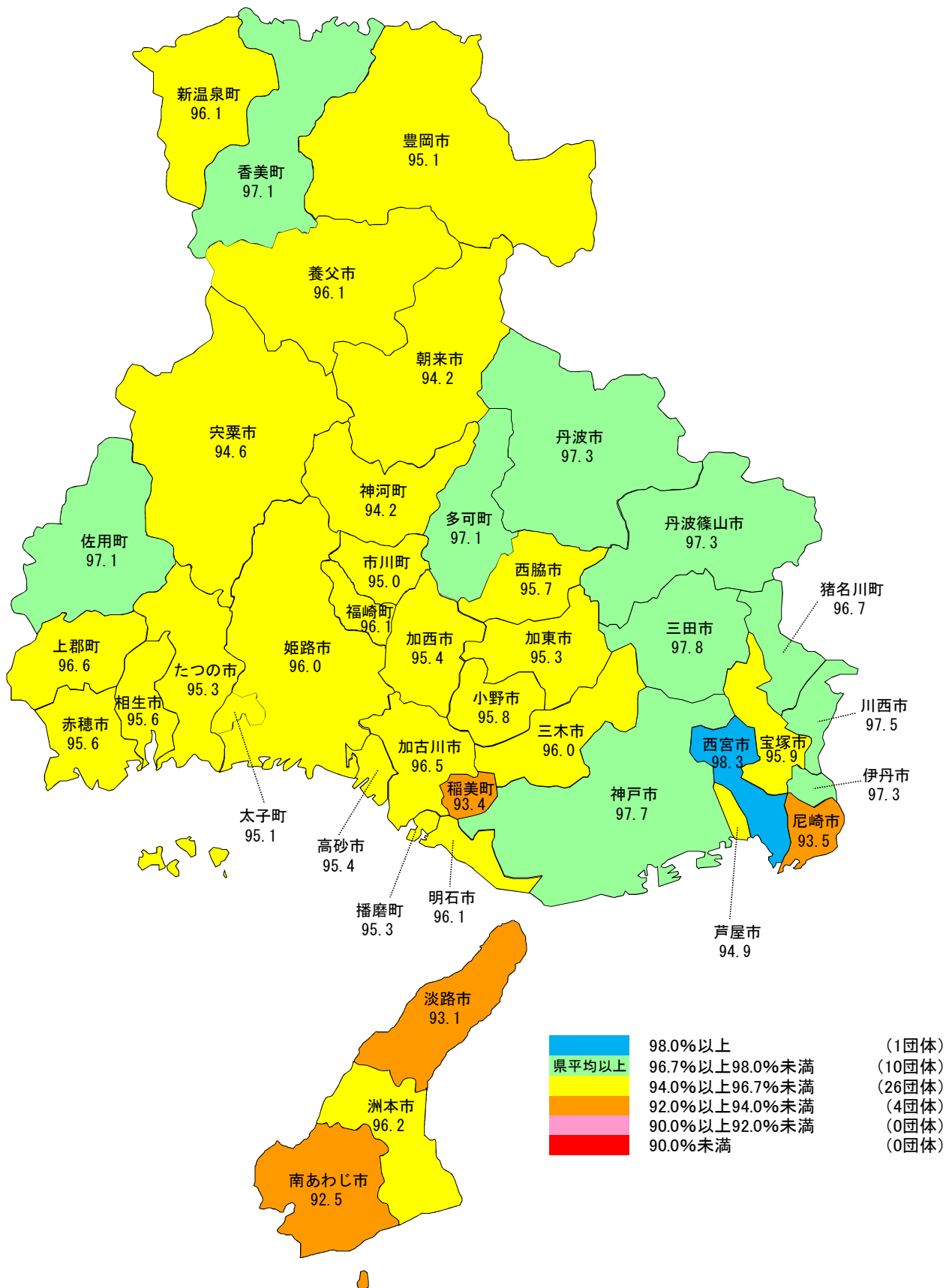
【資料6】

- 前年度から比率が減少したのは27団体、比率が増加したのは5団体。
- 最も減少したのは、市では朝来市(▲21.4)、町では太子町(▲20.6)。
- 最も増加したのは、市では川西市(+11.2)、町では市川町(+15.3)。



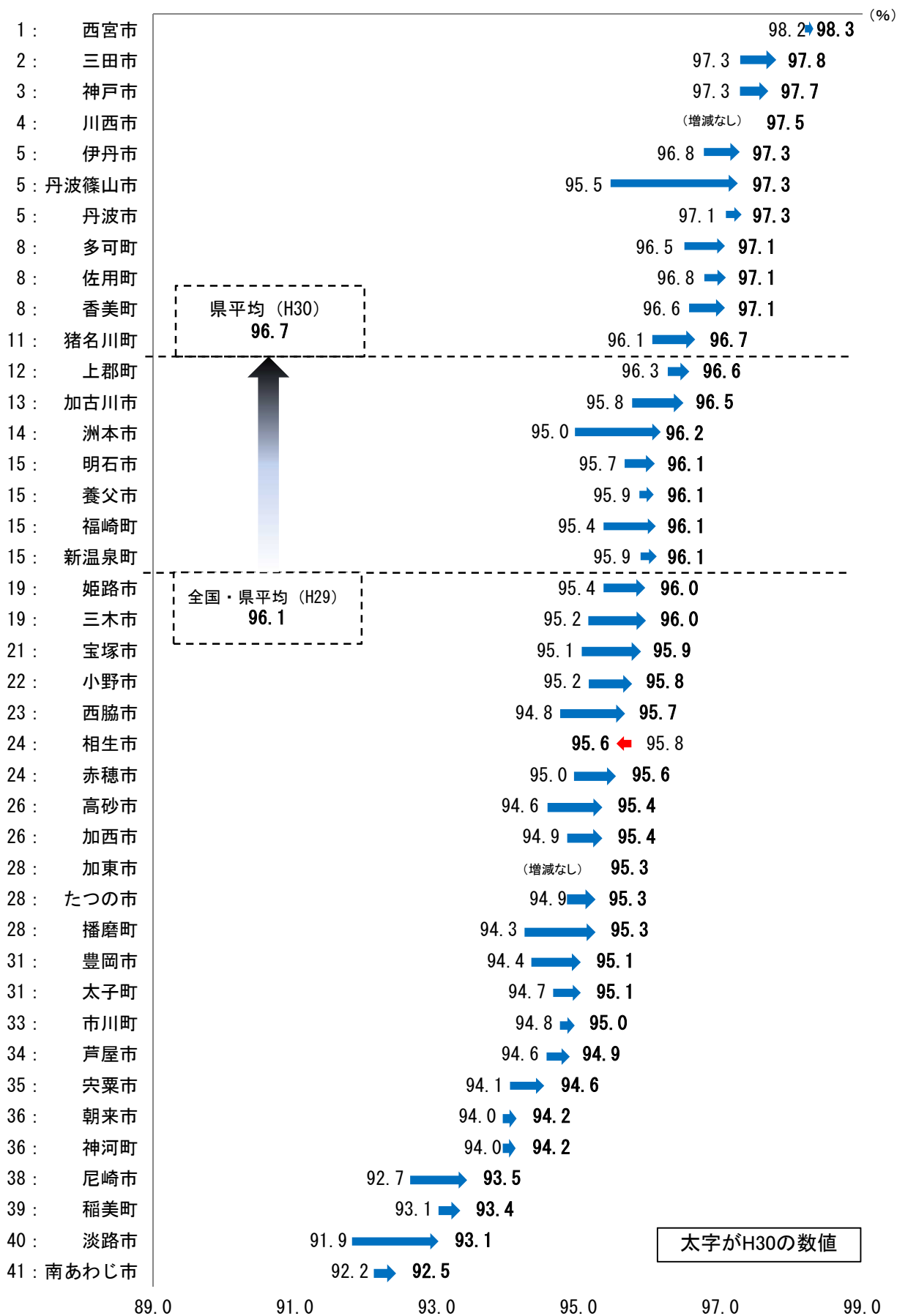
平成30年度兵庫県内各市町の徴収率(個人住民税)の状況

- 徴収率の県平均は96.7%(H29県平均96.1%)
- 徴収率が最も高い団体は、市では西宮市(98.3%)、町では多可町、佐用町、香美町(97.1%)
- 徴収率が最も低い団体は、市では南あわじ市(92.5%)、町では稲美町(93.4%)



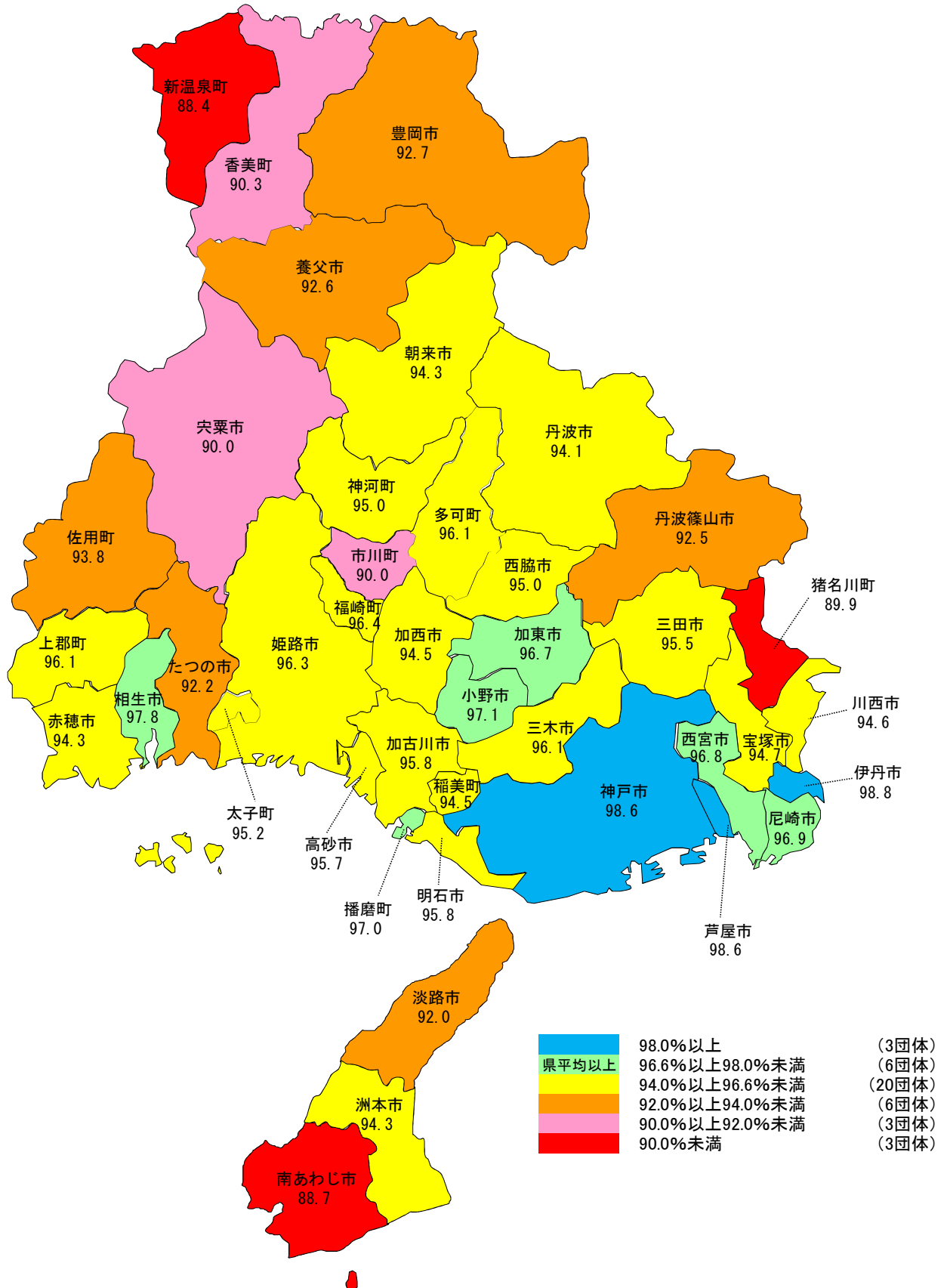
徴収率(個人住民税)の対前年度比較

■前年度から徴収率が減少したのは1団体、増加したのは38団体。
 ■最も増加したのは丹波篠山市(1.8%)最も減少したのは相生市(▲0.2%)



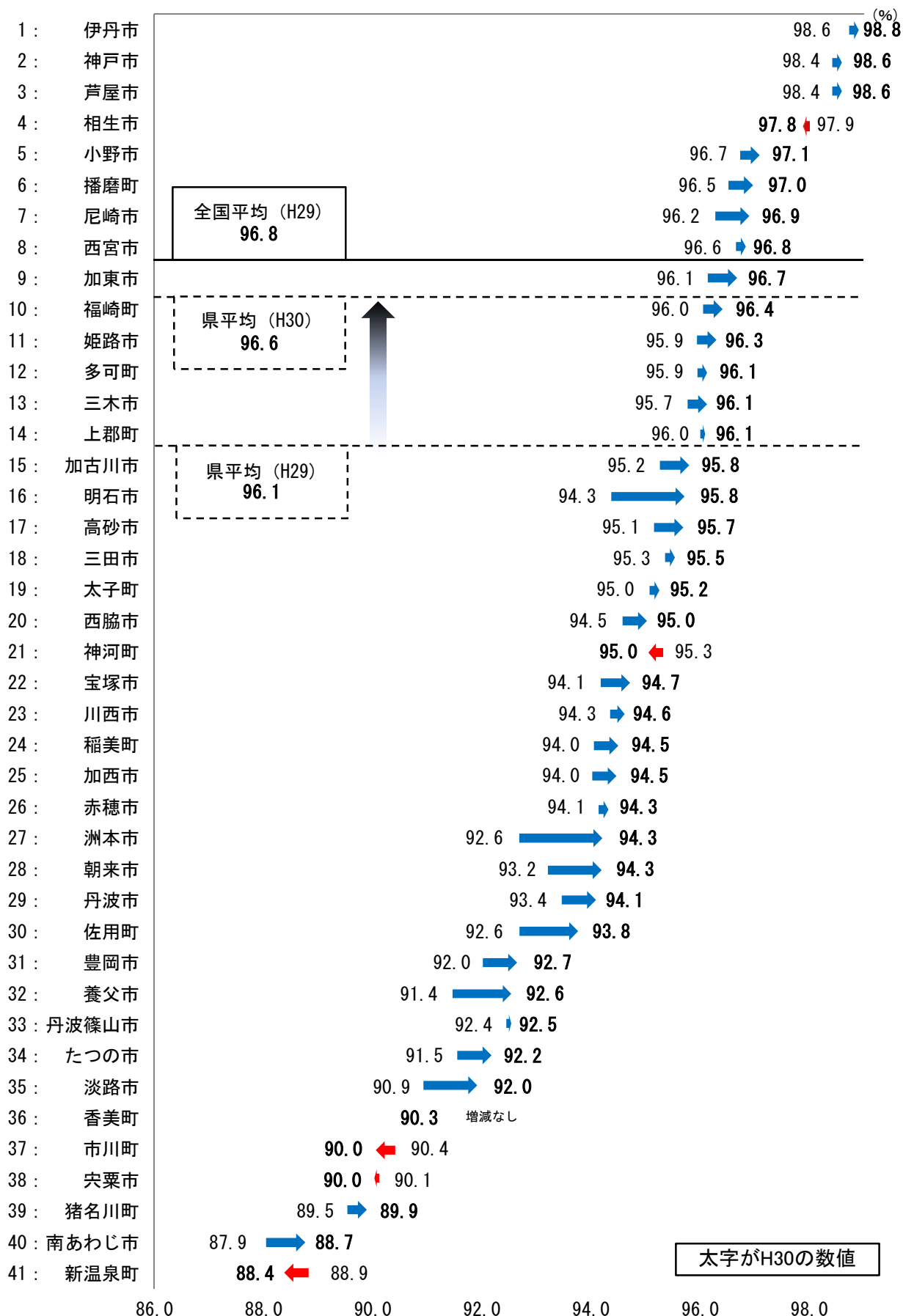
平成30年度兵庫県内各市町の徴収率(固定資産税)の状況

- 徴収率の県平均は96.6%(H29県平均96.1%)
- 徴収率が最も高い団体は、市では伊丹市(98.8%)、町では播磨町(97.0%)
- 徴収率が最も低い団体は、市では南あわじ市(88.7%)、町では新温泉町(88.4%)



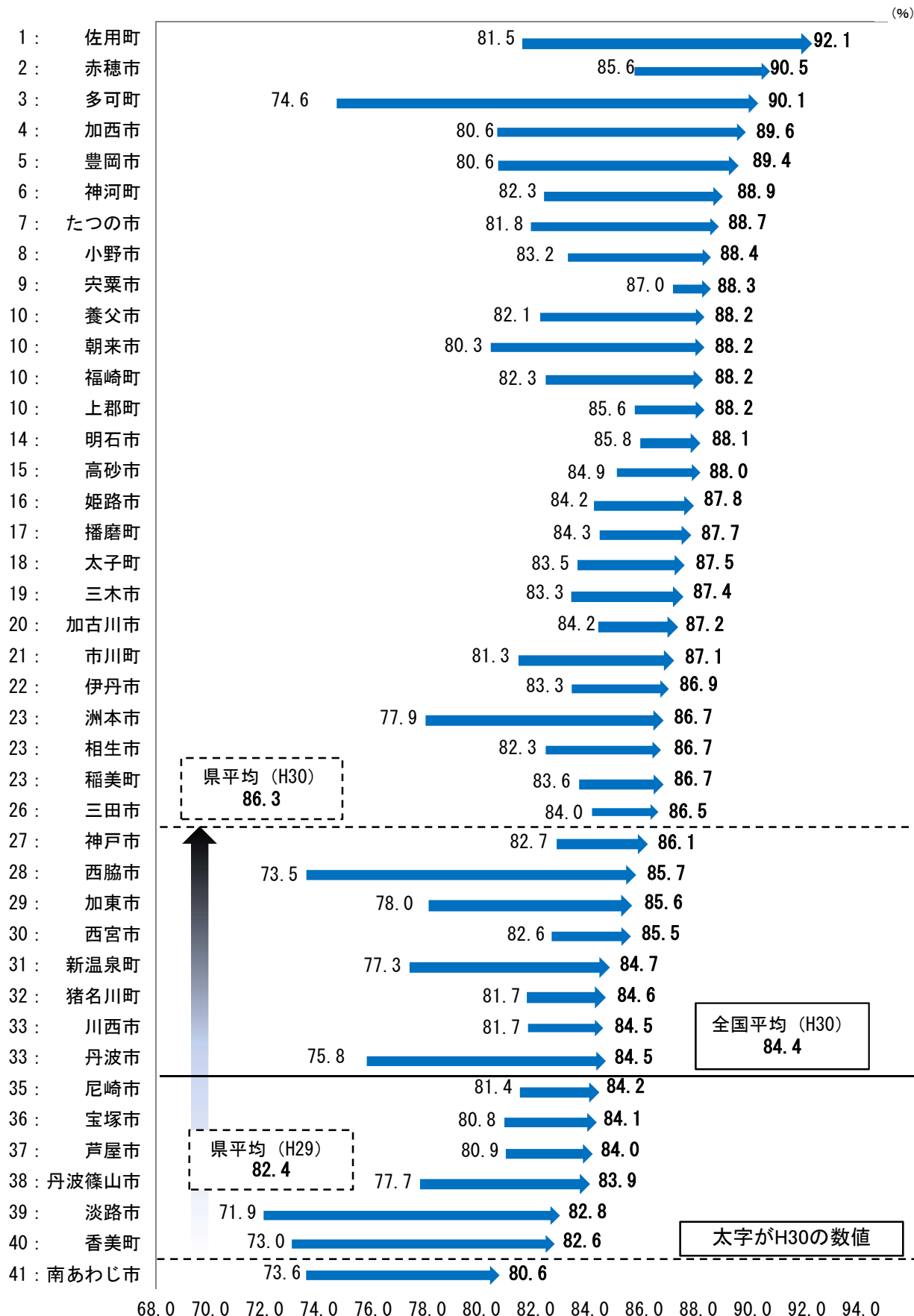
徴収率(固定資産税)の対前年度比較

■前年度から徴収率が減少したのは5団体、増加したのは35団体。
 ■最も増加したのは洲本市(1.7%) 最も減少したのは新温泉町(▲0.5%)



特別徴収実施率の対前年度比較

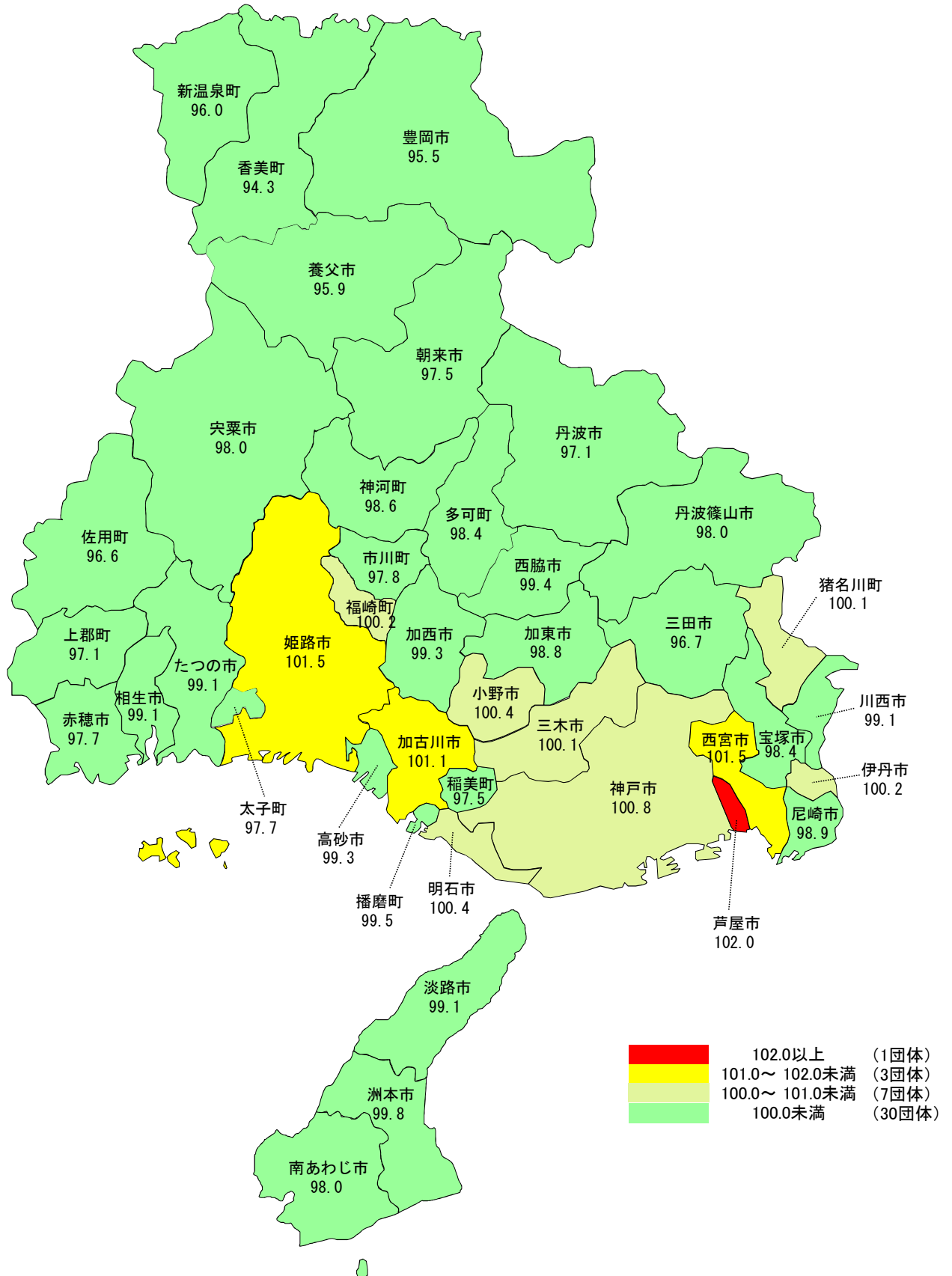
■前年度からの比率は、全41団体で増加した。
 ■最も増加したのは多可町(15.5%)。



※特別徴収実施率=給与所得者のうちの特別徴収で納付している人数/給与所得者の納税義務者数

平成30年兵庫県内各市町のラスパイレス指数の状況(H30.4.1)

○ラスパイレス指数※が100.0以上の団体は、芦屋市(102.0)、姫路市(101.5)など11市町。
 ○ラスパイレス指数が100.0未満の団体は香美町(94.3)など30市町。



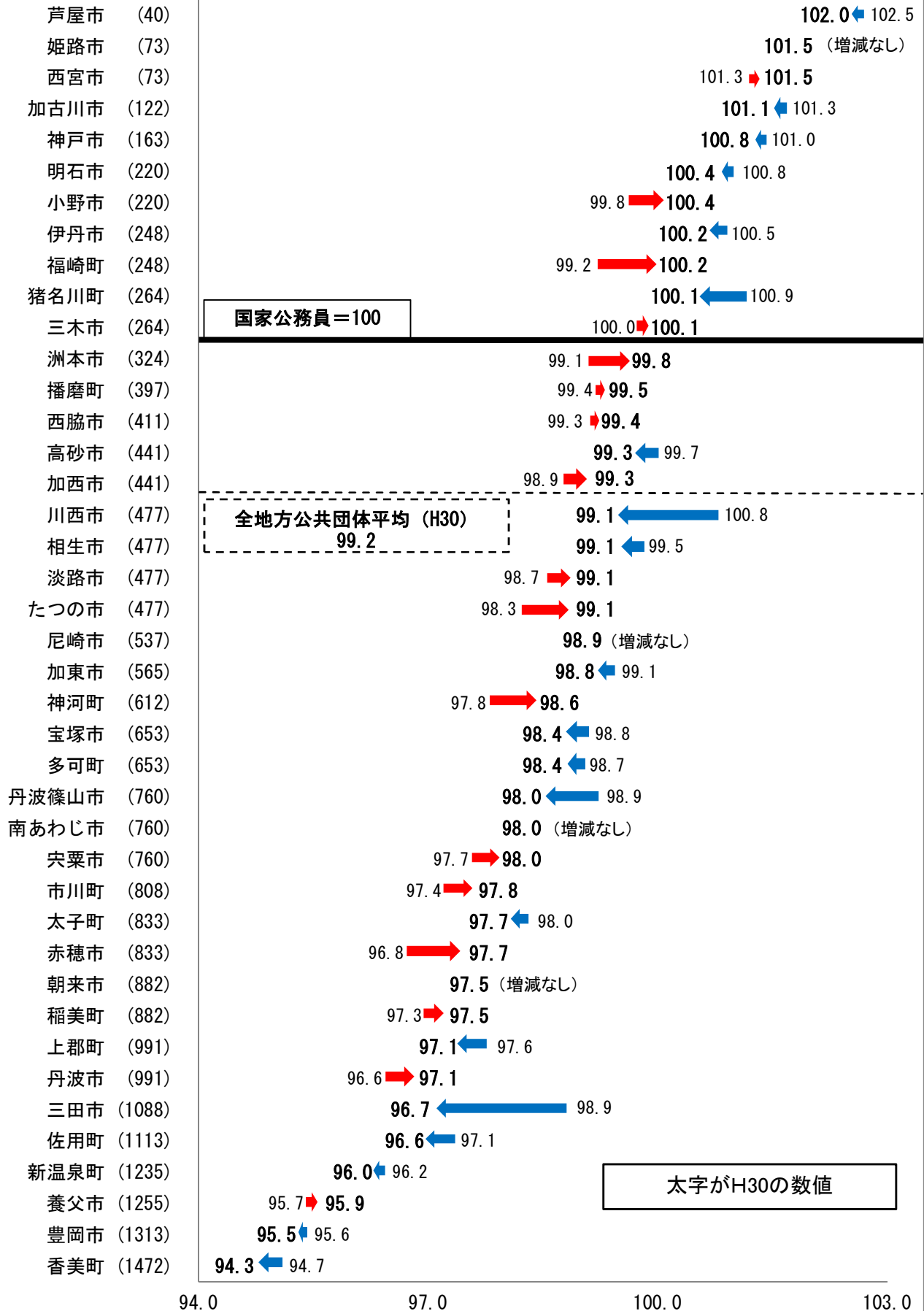
※ ラスパイレス指数: 国家公務員一般行政職の俸給月額を100とした場合の地方公務員一般行政職の給与水準

平成30年ラスパイルス指数の対前年比較

【参考資料②】

※ 市町名の後の()はH30全国順位
(市区町村の高い順)

- 前年から指数が減少したのは20団体、増加したのは17団体
- 100を上回る団体は、1団体増加し、11団体
- 最も増加したのは福崎町(+1.0)



令和元年9月
兵庫県企画県民部企画財政局 市町振興課作成

